

# 浜田商工会議所 三月号 青年部レポート

石見四市商工会議所

青年部交流会

旭公園市民体育館

単会だけでなく単会自体の結束も強まったのではないかと思います。

その後は「かくれの里ゆかり」にて温泉で汗を流し、

交流会に参加できなかった

会員も合流し、大人数での

懇親会となりました。「各単

会のPR」や「長いチユー

プを使った早飲み競争」「か

らし入りのシュークリーム

を食べてないのは誰かを当

てるゲーム」など、趣向を

凝らした内容で、大いに親

睦を深めました。また、ゲー

ムの景品には、浜田YEG

会員の取り扱っている商品

を当て、他単会へのPRも

図りました。

今回は益田市で開催され

ます。浜田YEGからも多

くの会員が参加し、より石

見四市の結束を高め、地域

を盛り上げていきましょう。

(交流委員会 佐々木 貴裕)

平成二十八年二月六日(土)、旭公園市民体育館にて島根県西部の四つの商工会議所青年部(大田、江津、浜田、益田)が集まり交流会を行いました。今回は各単会から約十名ずつ参加をいただき、体育館内での雪合戦で交流を図りました。「当たったらアウト、時間内に何人残れるか?または相手のチームのフラッグを取った方が勝ち」という比較的覚えやすいルールのもと、各チームがそれぞれの作戦を練り、白熱したゲームが行われました。その結果、一位益田YEG、二位江津YEG、三位浜田YEG、四位大田YEGという順位でした。声援が飛び交い、笑顔があふれる良い交流になったと思います。他

## 第四回浜田如月の舞

石央文化ホール

平成二十八年二月十四日(日)に開催した、第四回

浜田如月の舞は『躍動の神

楽舞』として、スピード感

ある太刀舞『天神：日脚社

中』、大虎二頭が暴れ舞う

『加藤清正公の虎退治：長

澤社中』、細谷社中復活の

舞牛若丸と弁慶出会いの神

楽『五條双神』、壇ノ浦の

戦から源平の合戦終焉を神

楽化した『義経平氏追討：

琴庄神楽団(広島県)』、そ

して最後は石見神楽の代名

詞大蛇八頭が登場する『大

蛇：長澤社中』の五演目で

開催いたしました。石央文

化ホールでしかできない舞

台演出を凝らした神楽は、

この日・この場所ではしか観

られない雰囲気で見ることが

魅了しました。

運営について、来場者へ

ヒアリングした中で、福岡

県から来られてたという方

は、前日の「石見の夜神楽」

と「浜田如月の舞」を観に

来られており、これまでも

神楽を観るために定期的に

来

来浜されているとのことでした。

また、終演が夕方だった

こともあり、駅前で食事を

して帰宅される来場者も散

見されました。石見の伝統

芸能『石見神楽』を接点と

して人・物・金の経済的交

流・文化的交流の可能性を

感じた一日でした。

青年部の指針に『豊かな

郷土を築くために創意と工

夫勇気と情熱を傾けよう』

という一節があります。神

楽運営を通して得た経験を

この一節に込めて今後の事

業所運営・青年部活動へ活

かしていきたいと思いま

す。

(BB・神楽委員会

委員長 谷川 元気)

追力ある舞に魅了される来場者



## 第三十五回全国大会

おかやま大会

岡山県岡山市

平成二十八年二月十八日

(木)から二十日(土)ま

での三日間、日本商工会議

所青年部による第三十五回

全国大会が岡山市にて開催

されました。私自身は十九

日(金)の大懇親会から参

加させていただきました。

当初の目標登録人数を大

幅に超える、約六千人の会

場は熱気で満ちあふれて

おり、全国大会の壮大さ

を改めて感じました。二十

日(土)は記念式典があり、

記念講演ではホリエモンこ

と堀江貴文氏の講演があり

ました。

また、会場だけでなく町

中いたるところに岡山県の

各単会の方々が配置されて

おり、県全体が「今を超え

ろ! 咲き誇れ! We are

the YEG」の

キャッチフレーズのもと、

一丸となって取り組んでいる

様子が見えがえしました。

街中に溢れる人々を見る

と、この事業こそYEGの

根幹であり、目指すところ

でもある「地域社会の発展」

「地域経済発展の支え」に

まさに直結していると感じ

ます。自分たちの活動がど

れだけ地域に貢献している

か日々の活動ではわかりに

くい中で、このような会に

参加することは自らの意識

改革につながる、大きな原

動力となりえます。この度、

当単会の参加人数は九人と

いつもより多いですが、今

後はもっと多くの方に参加

していただきたいです。こ

の度の経験を活かし、今後

とも、自分たちの青年部活

動が地域社会の発展につな

がると思っていて、積極果敢に

チャレンジしていきたいで

す。

(交流委員会

委員長 佐々木 裕美)

